他自治体との体系の比較について

参考資料2
令和3年5月19日
第1回男女共同参画推進会議・女性活躍推進協議

豊島区

平成28年12月

目標（目指すまちの姿）	重点課題
1<人権尊重のまち> 人権を尊重し、性別や国籍にとらわれず、一人ひとりが自らの能力を発揮できるまち	(1)女性に対するあらゆる暴力の根絶（豊島区配偶者等暴力防止基本計画）
	(2)人権尊重と男女共同参画社会への意識づくり
	(3)性と生に関する健康支援
2<多様な選択ができるまち> 固定的な性別役割分担にとらわれず、多様な選択を認め、行動できるまち	(4)雇用の場における男女平等の推進
	(5)家庭生活と仕事の両立支援の推進
	(6)地域活動への参加の推進
3<学び参画するまち> 「男女共同参画」の大切さを学び、理解し、決定過程への参画を推進するまち	(7)学習・啓発による男女共同参画意識の向上
	(8)区民・団体等の自主的活動への支援
	(9)政策・方針決定過程における男女共同参画の推進
4<すべての人が安心していきいきと暮らせるまち> あらゆる人がすべてのライフステージを通じて自分らしく暮らせるまち	(10)男性や子どもにとっての男女共同参画の推進
	(11)高齢者、障碍者など様々な困難を抱える人々が安心して暮らせる環境の整備

港区

令和3年3月

目標	課題
目標1 あらゆる場における男女平等参画を推進する	1 働く場における女性の活躍の促進
	2 政策・方針決定過程への女性の参画促進
	3 地域活動の場における男女平等参画の促進
	4 教育の場における男女平等参画の推進
	5 家庭や社会の慣行における男女平等参画の推進
	6 男女平等参画の視点に立った防災対策の充実
目標2 ワーク・ライフ・バランスを推進する	1 事業者におけるワーク・ライフ・バランスの推進
	2 安心して子育てできる環境づくり
	3 仕事と介護の両立に向けた支援
	4 男性の家庭・地域への参加促進
目標3 人権の尊重と生涯を通じた健康を支援する	1 人権を尊重する意識の醸成と性別等による差別の根絶
	2 配偶者等に対するあらゆる暴力の根絶
	3 あらゆるメディアにおける人権の尊重
	4 生涯を通じた男女の健康支援
目標4 男女平等参画社会実現に向けた推進体制を充実する	1 拠点施設リーブラの充実
	2 区職員の男女平等参画の推進
	3 計画推進体制の充実
	4 区民・事業者・教育機関等との連携

<特徴>
課題が細かく分けられ、男女共同参画に関する項目を網羅的に示している体系の計画となっています。

荒川区

令和3年3月

基本目標	施策の方向性
基本目標1 人権の尊重と多様な生き方を認め合う意識を高める	1 人権尊重・男女平等教育の推進
	2 多様性を認め合う視点での広報・啓発・支援の推進
	3 あらゆる暴力の防止に向けた取組の推進【配偶者暴力防止法に基づく区計画】
基本目標2 あらゆる分野において男女共同参画を推進する	1 区の政策・方針決定への女性の参画拡大
	2 地域を活性化させる活動の促進
	3 危機管理対策における男女共同参画の推進
	4 生涯にわたる男女の健康づくり支援
基本目標3 全ての人のワーク・ライフ・バランスを推進する【女性活躍推進法に基づく区計画】	1 ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発の推進
	2 家庭におけるワーク・ライフ・バランスの推進
	3 働く場におけるワーク・ライフ・バランスの推進
	4 切れ目のない就労支援
	5 地域におけるワーク・ライフ・バランスの推進
基本目標4 計画推進のための体制を整備する	1 男女平等推進センター（アクト21）の機能の充実
	2 区民参画による推進体制の整備
	3 男女共同参画社会形成への区職員の意識づくり

<特徴>
豊島区の新プランの体系案Aのように、基本目標の1つが女性活躍推進法に基づく計画、施策の方向の1つが配偶者暴力防止法に基づく計画に位置付けられている体系の計画となっています。

板橋区

令和3年3月

めざす姿	行動（施策の方向性）
1 誰もが参画・活躍できる「共生社会」	1 誰もが働きやすい 環境づくりの推進
	2 地域活動・防災活動 への多様な担い手の参画促進
	3 ライフステージに応じたジェンダー平等理念の啓発
	4 家庭生活と社会参画の両立に向けた環境整備
	5 生活の場における行動変容の促進
	6 意思決定過程における男女バランスの均衡
2 多様性を活かし合う豊かな「成長社会」	7 ダイバーシティ＆インクルージョンの理解促進
	8 性的マイノリティへの支援
	9 男女平等推進センターの機能の充実
3 暴力やハラスメントのない「安心・安全社会」	10 DVの未然防止と早期発見
	11 DV被害者支援
	12 ハラスメントや性暴力の防止

<特徴>
性的マイノリティやダイバーシティなど、多様性に関する項目がめざす姿の1つとなっているほか、一般的に示されることの多い意識の醸成や啓発などの項目が施策の方向レベルでは示されていないなど、個性的な体系の計画となっています。